

平成30年度
宇陀市まちづくり活動応援補助金
成果報告書



宇陀市企画財政部 まちづくり支援課
令和元年8月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1

各事業の成果 ※以下事業名（ ）内は実施団体名

(1) 室生原山にぎわいの拠点づくり事業	2
(三郎岳景観石仏群保存会)	
(2) 地産地消の学校給食と地域力向上計画	3
(宇陀ランチ・プロジェクト)	
(3) ～町おこしは人おこし～魅力発見♪うたの手づくりフェスタ♪	4
(うたの夢街道実行委員会)	
(4) 宇陀スカイランタンフェスティバル	5
(宇陀スカイランタンプロジェクト)	
(5) 空き家改修の民家を利用した市民による市民の為の市民文化講座	6
(にっこり会)	
(6) ♪一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける	7
『お客様に対するおもてなし』	
(♪一魂心会)	
(7) 宇陀再発見ツアー	8
(宇陀市の神話と歴史を考える会)	

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関(宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会)による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査(書類審査)

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査(公開プレゼンテーション)

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。
	・自主性をもった企画・運営となっているか。
	・地域活動支援の目的と合致しているか。
公益性	・事業の成果が広く地域に還元されるものか。
	・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。
	・市の施策と方向性が合致しているか。
	・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか。
	・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。
	・ほかの方法で代替できないものであるか。
	・経費の使途が適切なものか。
実現性	・目標(達成すべきこと)が明確なものか。
	・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。
	・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
反田 博俊	奈良NPOセンター理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
紙谷 尚永	公募委員
東川 富成	奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課
中野 理	宇陀市役所 副市長

※審査委員会(平成30年4月8日)現在

室生原山にぎわいの拠点づくり事業 【新規】

補助金額
455,000円

三郎岳景観石仏群保存会

補助事業の実施内容

三郎岳付近には、山つつじ、山桜が群生し冬には樹氷が見られ景観が良い。地域内を伊勢本街道がとおり石割峠を越えてハイカーが通るが、安心して旅をして頂けるよう整備し、地域文化遺産の保全と伝承を守る。

- 観光振興に関する事業として、三郎岳登山道整備事情や伊勢本街道接続道整備事業
- 地域文化遺産の保全と伝承に関する事業として、急傾斜地の改修及び安全手すりの設置
- 交流の拠点づくり事業として、丸太椅子の設置や簡易トイレの設置等ハイカーや住民が気軽に交流できる拠点とする。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- 観光振興に関する事業として、三郎岳登山道や伊勢本街道接続道を整備したことで、ハイカーの皆さんが歩きやすくなったと喜んでくれた。
- 道標、案内板を設置し、付近の状況や行き先が分かりやすくなった。
- 見晴台付近の雑木を切り、切った木材で休憩用の椅子を作成設置し、見晴台からの眺めがよくなり、景観が非常に美しくなった。
- 交流の拠点づくり事業として、丸太椅子の設置や簡易トイレの設置の基礎を整備した。
- 2度の台風でハイキングコース道の一部崩壊や大木が倒れたりと被害がでた。来年、もう一度整備したい。

事業実施団体

名 称	三郎岳景観石仏群保存会
所在地	宇陀市室生下田口752番地
設立の経緯・目的	平成30年2月に設立。地域の景観保全や文化遺産の保存・伝承、住民の交流、空き家対策などをとおして、地域の活性化へ繋げることを目的にしている。
主な活動内容	1. 地域活性化会議の開催 2. 地域環境の保全と文化遺産の保存・伝承 3. 交流の拠点づくり 4. 空き家対策 5. 住民への声かけ運動 6. 伊勢本街道を通るハイカーの道案内など

地産地消の学校給食と地域力向上計画 【継続3年目】

補助金額
300,000円

宇陀ランチ・プロジェクト

補助事業の実施内容

○学校給食野菜の試験栽培に取り組む

1. 秋ジャガイモの試験栽培と普及
2. 玉ねぎの長期保存の実験
3. ニンジンの端境期解消の取組
4. 納入カボチャの品種統一
5. 「うだ野菜の日」の給食を年6回に
6. 給食懇談会と生産者懇談会で情報交流

○試験栽培をみんなで確認する収穫祭

1. 試験ジャガイモ栽培の検証と収穫
2. くらま大根の収穫体験

○給食センターや小学校と連携した食育活動

1. 「ふれあい授業、給食」の年6回開催
2. 室生小学校の「学校菜園活動」を支援

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・宇陀ランチプロジェクトの宇陀市学校給食地産率が13%、全市地産率約30%になった。
- ・長期保存と端境期栽培のチャレンジ実験で、成果が見られた。
玉ねぎの風乾燥保存実験、秋ジャガイモの栽培、カボチャの品種栽培など
- ・室生小学校で「うだ野菜の日」にランチプロジェクト農家が講師となり「ふれあい授業・給食」を実施。
農家の生産意欲の向上や子どもたちにとっても野菜栽培の分かりやすい食育教育になった。
- ・『くらま大根・秋ジャガイモ収穫体験』を12月8日に実施。
収穫後に試食会を開催して、目的の宇陀産栽培が可能であることと、その美味しさを参加者全員で確認できた。

事業実施団体

名 称	宇陀ランチ・プロジェクト
所在地	宇陀市榛原天満台西1丁目12-7
設立の経緯・目的	平成27年宇陀ひと・まち・しごとづくり委員会も公募委員として議論に参加する経緯から委員会での提案を実現するために有志を募り、宇陀市活性化の一助になる取組を確認してこの団体を平成27年12月10日に設立。
主な活動内容	1. 年間3回給食センターと懇談会を開催 ・学校給食の現状等の意見交換を行う。 ・団体設立の趣旨に基づき、宇陀市学校給食の地産地消率20%を実現するための協力を要請 2. 年間3～4回の収穫祭を開催 ・食育イベント「大根からし漬け」を開催し50名の参加。 ・ジャガイモの収穫祭、田植え体験、くらま大根収穫祭など開催。 3. 生産者懇談会 ・生産者の意見を給食センターへ提案して意見交換会を行う。センターの意見を栽培計画に反映できるように取り組む。この情報交換が納入野菜の増加となり地産率向上に繋がっている。 4. 宇陀市学校給食納入業者となり市内農家の野菜を納入。H29年度は単独で約5770kgの納入実績。 5. 宇陀市内の野菜価格調査を実施

～町おこしは人おこし～魅力発見♪
うたの手づくりフェスタ♪【継続2年目】

補助金額
400,000円

うたの夢街道実行委員会

補助事業の実施内容

菟田野地域在住の「人」の魅力を再発見し、フェスタでの交流を通じて「町を知る」「人を知る」「自分を知り」「菟田野への愛着」を育てる。

フェスタ開催 10月28日実施

フェスタでは、「手づくり」→作る・知る体験から、人・町を知る！「体力づくり」→体操や音楽で体を元気に！この2つを軸に様々な体験を行います。体験を通じて、地域で活躍する人や町の産業を知り、新しい地域の魅力や、人のつながりに気づき、明日への一歩につながるように。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

「手づくりフェスタ」の主旨である「健康なからだを作ろう」「手づくりしよう」に共に楽しみ、色づくかえでの中で大人も子どもも笑顔いっぱいの日となりました。

高校生の人形劇や絵本・お絵かき体験コーナーなど、小さなお子さん連れのお母さんもゆったりと腰を下ろして楽しめる空間作りを行いました。

「手作り体験コーナー」では、ハーバリウム作り体験が大人気でした。旧宇太小学校卒業生も多く、同窓会のような懐かしむ様子がコミュニティ再生の基盤になる事を期待しています。また、広報も広域配布を行ったことで、宇陀市外からの来場者も多く、家族連れが多かった。菟田野地域の魅力を感じてもらえたとおもいます。

事業実施団体

名 称	うたの夢街道実行委員会
所在地	宇陀市菟田野古市場271番地
設立の経緯・目的	2009年(H21年) 菟田野地域の活性化と魅力あるまちづくりを目的とし、「うたの夢街道」の企画・運営及びそれに追随する事業を実施するため設立。菟田野地域の魅力を内外に発信し、観光交流や地元市民の交流の場づくりを行う。
主な活動内容	2009年(H21)より春に「うたの夢街道」を実施。 - 宇太水分神社を中心に古市場街道筋の賑わい作り、観光PRを行っている。 2012年(H24)、奈良県まちづくりコンシェルジュと「古市場」まちづくりマップの協働作成。 2015年(H27)、宇陀市市政10周年事業「薪能」を開催。地域に根付き、地域の人々と共に人々が集い、世代間の交流ができる場づくりを行っている。 2017年(H28)、「ひと」「こと」「もの」に焦点を当てた体験型フェスタを開催。

宇陀スカイランタンプロジェクト

補助事業の実施内容

7月22日(日)実施

宇陀市を盛り上げよう！地域に貢献しよう！という趣旨から、世界中で話題になっている『スカイランタン』を使い宇陀市の新たな町おこしを行う。

去年の悪天候で、「スカイランタン」を上げることが出来なかったが多くの注目を集めることが出来ました。その皆さんの期待に応えるべく再度開催をした。

地域住民はもとより、近隣の市町村、県外の方々にも宇陀市のアピールが出来るイベントにし、夏まつり、秋祭りに続く宇陀市の新しい観光資源を目指します。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

33店舗もの飲食・クラフトブースがあり、日中の来場者も賑わいをみせ、スカイランタンも無事夜空へ放つことが出来ました。最後には、平成最後の夏を彩る花火の打上げもあり、盛況のうちに無事終了することが出来ました。

奈良県初のスカイランタンイベントを開催し、市外、他府県から多くの方々に来場して頂く事ができました。およそ3500人の来場者があり、宇陀の物産、食材も充分にアピールできたと思います。新しい出会いやこれからの宇陀市を担っていく若者たちを中心に一致団結し、自分たちでもやればできるんだ！！と1つ成功できたイベントだと思います。

事業実施団体

名称	宇陀スカイランタンプロジェクト
所在地	宇陀市榛原自明1358番地
設立の経緯・目的	宇陀スカイランタンプロジェクトの運営業務を円滑に行い、地域活性化のための活動を行う事を目的とする。
主な活動内容	1. 大空に舞うスカイランタンを使ったイベント(LED) 2. 地産の食材、商品を使ったブースの出店 3. 音楽・映像などのイベント 4. 人気キャラクターショー 5. 子どもフリーマーケット 6. その他宇陀市に貢献できうるイベントなど予定

空き家改修の民家を利用した市民による市民 の為の市民文化講座 【新規】

補助金額
480,000円

にっこり会

補助事業の実施内容

松山重伝建地区の住民が、自分たちに必要な市民講座を企画し参加する。自分たちで講師もつとめ様々な講習会や講演会を実施していくことで、引きこもりがちな老人のいない町にする。
○宇陀松山重伝建地区の住民が、本当に必要としている市民講座の内容について市民で検討する。
○市民の担当者が、市民講座の開催時期・会場・参加費・講師の計画など主体的に立てる。
○住民のニーズに応じた様々な市民講座を実施する。
○振り返りを行い、次年度の計画を立てる。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

茶道教室、菓子作り、教育相談、そば打ち体験学習、大正琴と歌唱教室、料理教室、きのぼり・クライミングなど様々な、市民文化講座を開催。茶道教室「喫茶去」からスタートしたが、そこから「和菓子教室」「料理教室」「大正琴」「教育相談」などのリクエストが生まれ、一般募集へと広がっていった。また、地元の講師先生を捜しあて地元住民が学ぶ場を提供。地元のイベントにも出店しようということになり、初えびすでお抹茶の市民ブースを出店ができた。来年は、料理教室やクラフト教室も開催し、更に市民ブースを出店する計画である。地域住民が主体的に活動し、地域が活性化する原動力になれるように今後も活動を続けていきたいと思う。

事業実施団体

名称	にっこり会
所在地	宇陀市大宇陀下本2175番地
設立の経緯・目的	宇陀松山初えびすを下本自治会が、永年続けてきたが、高齢化と過疎の為存続不可能となり、商工会青年部に委託したが、その青年部も後継者不足から継続が困難となってきた。商工会青年部を支援する団体として有志が集まって「にっこり会」を発足した。宇陀松山重伝建地区の町並み保全を含む活動となり今日では、活き活きとしたまちづくりを目的として活動している。
主な活動内容	1. 宇陀松山初えびすの実行委員会に加わって、中心的な活動。 2. 町並み保全につながる市民講座の開催 3. 宇陀松山住民の意識調査の実施 4. 奈良県文化財課との連携事業 5. 早稲田大学社会科学部卯月盛夫研究室との連携事業 6. 住民の親切とおもてなしの心を育てる葉ボタンの栽培と配布 7. UDA寺子屋さんとのアクティブラーニングの連携事業 8. 多世代交流の場づくりの推進 9. 空き家コンシェルジュ 10. はならあと実行委員会との連携事業 11. ライトアップ事業との連携事業 12. 大宇陀夏まつり実行委員会との連携事業

一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける『お客様に対するおもてなし』【新規】

補助金額
480,000円

一魂心会

補助事業の実施内容

賑わいをつくり、お客様に楽しい気持ちになって頂き、室生寺門前町の活性化を図る。また、インスタ映えするスポットを作る。

- 駐車場から室生寺太鼓橋までの道中に提灯灯を連ねる。
- もみじ公園のもみじに電飾を施しライトアップを行い、同時に歓迎とお礼の看板を設置する。
- 室生トンネル横の滝をライトアップし、同時に歓迎とお礼の看板を設置する。
- 龍穴神社、韋駄天尊横の大杉をライトアップし、同時に室生寺への方向案内看板を設置する。
- 室生寺内に暖を取れる小休憩スペースを確保し、温かい飲食物屋台を出店する。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

【提灯の効果】

河川の水面に反射する提灯の灯がとても綺麗で、みなが足を止めて記念写真などを撮り大反響だった。

【ライトアップの効果】

普段は真っ暗な道で寂しい感じだったが、要所要所のライトアップは非常に幻想的で、お客様の反応もよかった。

期間中にもみじ公園のもみじが散ってしまったため、急遽もみじが綺麗な場所に変更してライトアップを行った。

事業実施団体

名 称	一魂心会(べんいちこんしんかい)
所在地	宇陀市室生78番地
設立の経緯・目的	室生のこれからの世代の者や、室生寺の若手僧侶で設立。 室生地域の発展や活性化、室生寺の賑わいを少しでも取り戻したく設立。
主な活動内容	コンサルタントを踏まえた会議 室生寺前バス停を建築(予定)

補助事業の実施内容

宇陀の地は、縄文時代から開けた土地であり神武東征の地でもあるため、多くの遺跡も存在する。宇陀市には、大小多数の古墳群があるがほとんど未整備で放置されている為、文化遺産を整地し市民内外の方に知ってもらうことで観光資源として学識経験者による、講演や歴史の勉強と古事記、日本書紀の研究を行う。

○宇陀市内外の方を広く招いて、講師とガイド説明を聞きながら史跡探訪、ウォーキングをする。(公共交通バスも利用する)

大宇陀道の駅⇒六孫王五輪塔見学⇒(岩清水)八幡神社⇒阿紀神社見学、講演⇒大亀和尚民芸館⇒大宇陀道の駅

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

平成30年11月4日(日)晴天

貸し切りバス2台貸し切りで、「宇陀再発見ツアー」大宇陀地域を巡りました。当日の参加者は100名を超え、巨大五輪塔の大きさに参加者は驚いていました。その後天理大学准教授の天野忠幸先生による『巨大五輪塔(六孫王)宇陀の源氏の謎にせまる』の講演では、京都に六孫王神社がありながら、なぜ大宇陀岩清水に六孫王の五輪塔があるのかなど、実物を見学した後の講演だったので参加者は興味を持って聞いていました。

市内外(奈良市、天理市、大和郡山市、橿原市、桜井市、京都府、大阪府、三重県)から参加頂き、宇陀市を大いに発信できたことと思います。また、お抹茶の「おもてなし」も大いに喜んで頂きました。大宇陀町史に五輪塔の事と崇光寺跡の調査が必要と記されています。このことについて、本会も今後の課題とし前に進めたいと考え、宇陀市の活性化に繋がりたいと思います。

事業実施団体

名 称	宇陀市の神話と歴史を考える会
所在地	宇陀市菟田野佐倉408番地
設立の経緯・目的	宇陀市に伝わる記紀万葉発祥地から、神武天皇や市を代表する宇太水分神社、阿紀神社、墨坂神社、室生寺など多くの神社仏閣が建立されており、数々の民話や伝説が残っている。こうした歴史的文化を探究することで宇陀市のまちづくりに寄与する事を目的とする。
主な活動内容	1. 宇陀の歴史探訪を行い、歴史文化についての研究を行う。 2. 三重県大紀町錦と広域交流事業に互いに協力し合い、研鑽に励む。 3. 平成29年10月14日「戦国の群像 宇陀三将サミット」を開催する。